

沖縄県那覇市 若狭小学校地区の交通安全対策について



目次

- ◆ 1. はじめに ～那覇市の概要について～
- ◆ 2. 若狭小学校地区の概要
- ◆ 3. 若狭小学校地区のこれまでの取り組み
- ◆ 4. さらなる交通安全対策に向けた取り組み
～ゾーン30プラスへ～
- ◆ 5. まとめと今後の展望



1. はじめに



沖縄県の面積…約2,282km²

人口…約146万人

那覇市の面積… 41.46km² (1.8%)

人口…約31万人 (22%)

人口密度…約7,668人/km²

★人口および人口密度…沖縄No.1★



1. はじめに



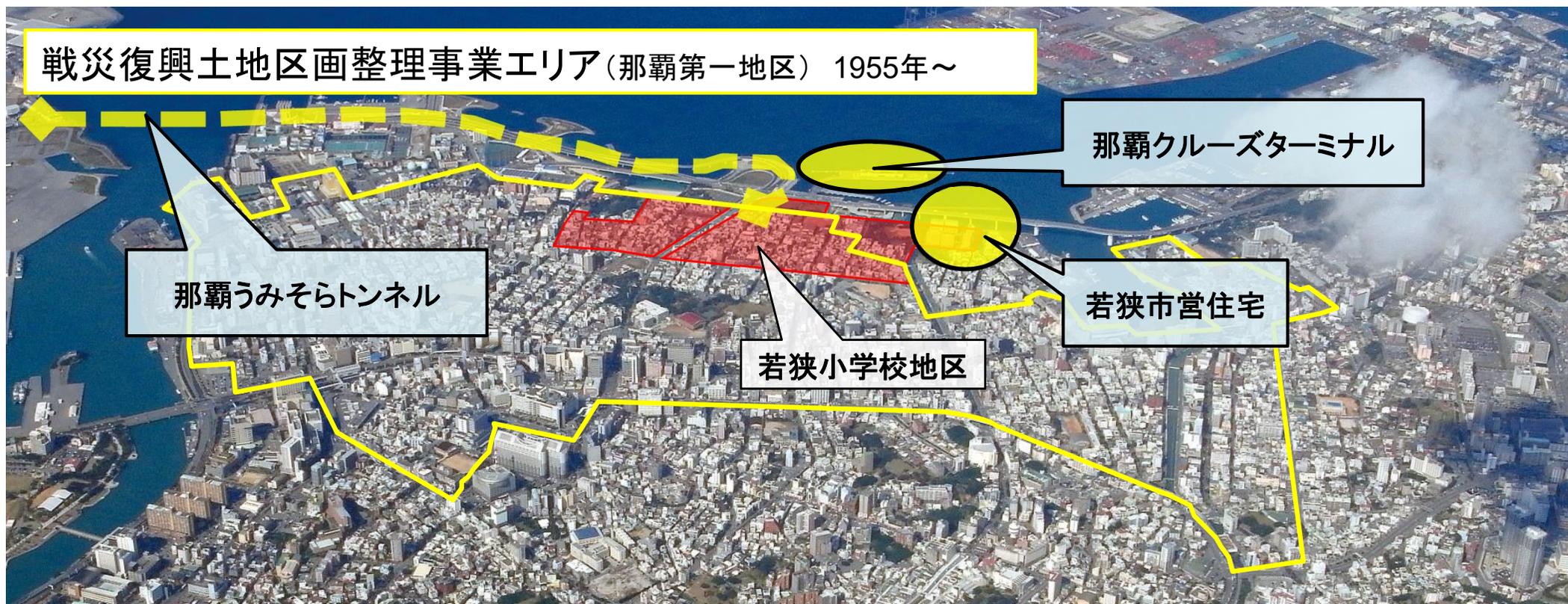


目次

1. はじめに ～那覇市の概要について～
- 2. 若狭小学校地区の概要**
3. 若狭小学校地区のこれまでの取り組み
4. さらなる交通安全対策に向けた取り組み
～ゾーン30プラスへ～
5. まとめと今後の展望



2. 若狭小学校地区の概要



若狭市営住宅



那覇うみそらトンネル

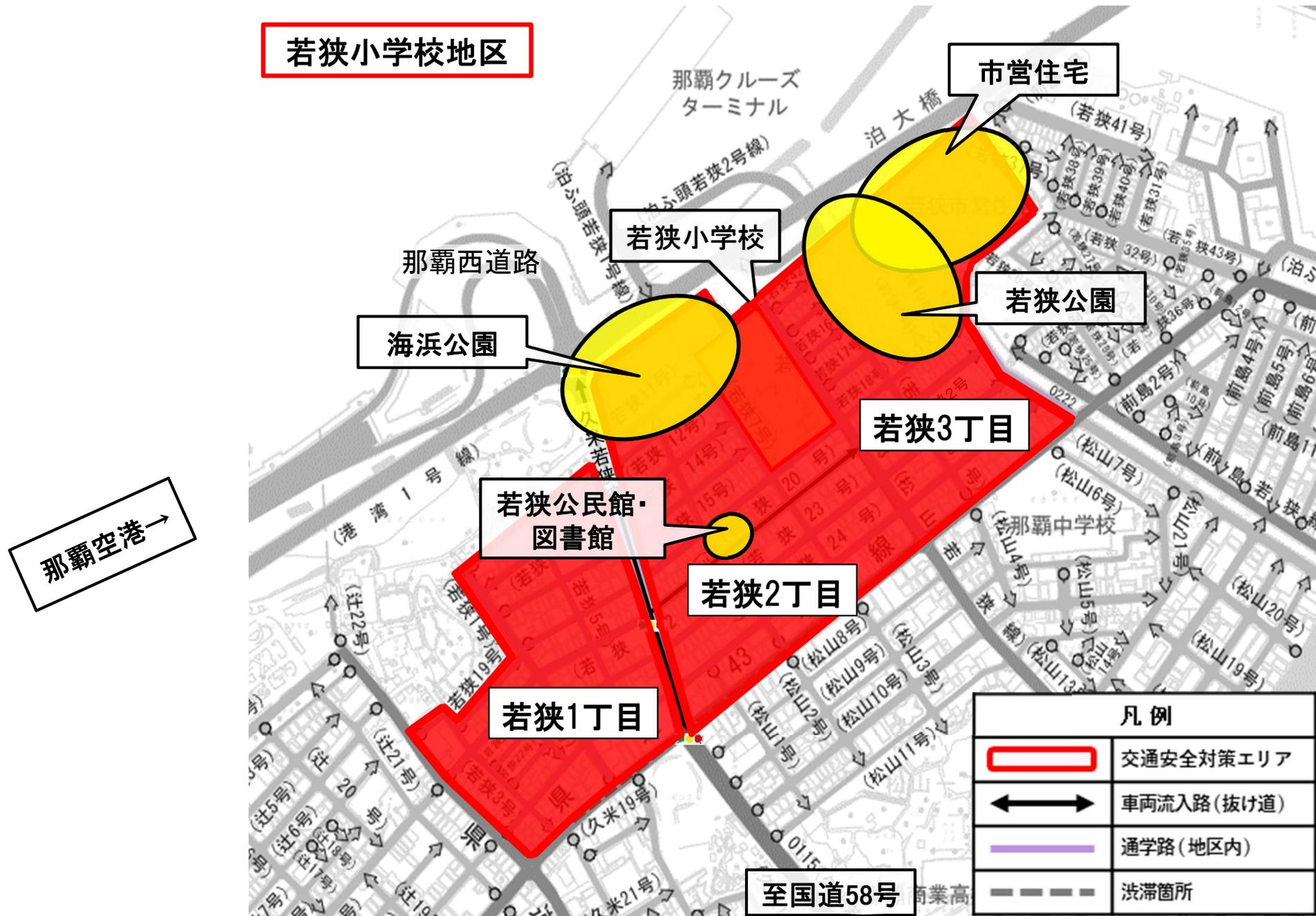


那覇クルーズターミナル



2. 若狭小学校地区の概要

若狭小学校地区



凡例	
	交通安全対策エリア
	車両流入路(抜け道)
	通学路(地区内)
	渋滞箇所



目次

1. はじめに ～那覇市の概要について～

2. 若狭小学校地区の概要

3. 若狭小学校地区のこれまでの取り組み

4. さらなる交通安全対策に向けた取り組み
～ゾーン30プラスへ～

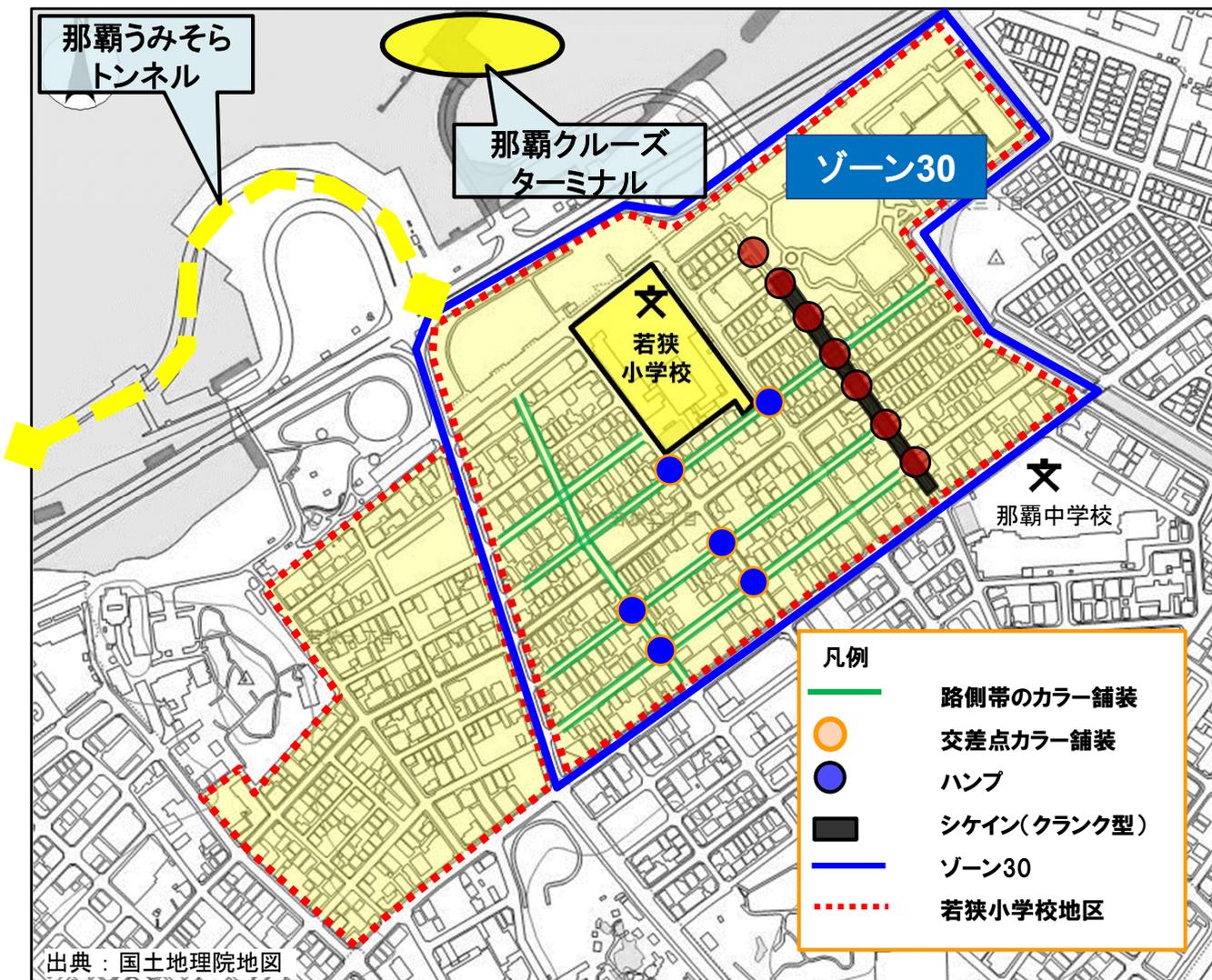
5. まとめと今後の展望



3. 若狭小学校地区におけるこれまでの取り組み

～ 区画整理以降の周辺環境の発展 ～

- ・コミュニティ道路
- ・あんしん歩行エリア
- ・ゾーン30



クランク型整備



交差点のハンプやカラー舗装



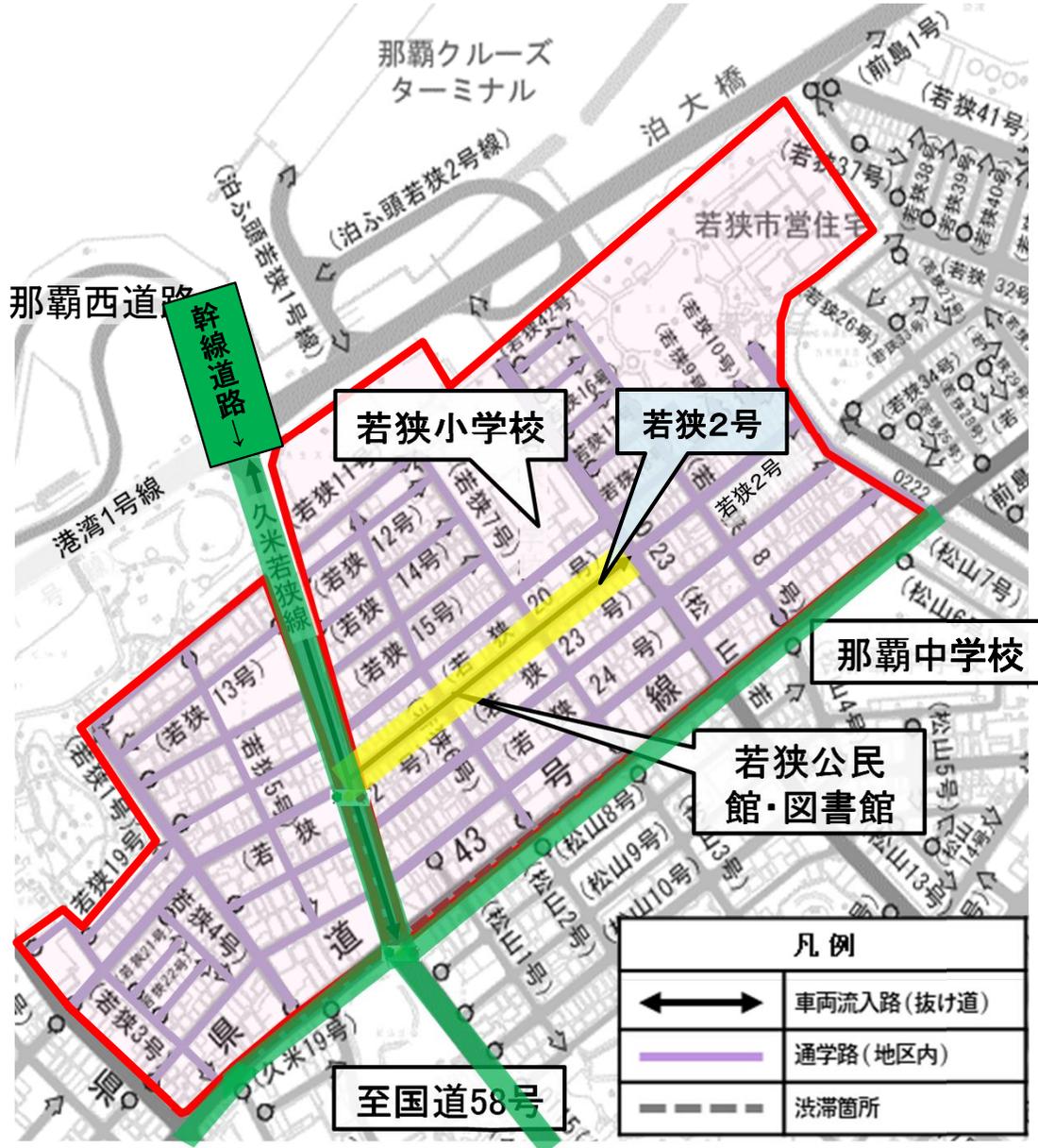
路側帯のカラー舗装



3. 若狭小学校地区におけるこれまでの取り組み

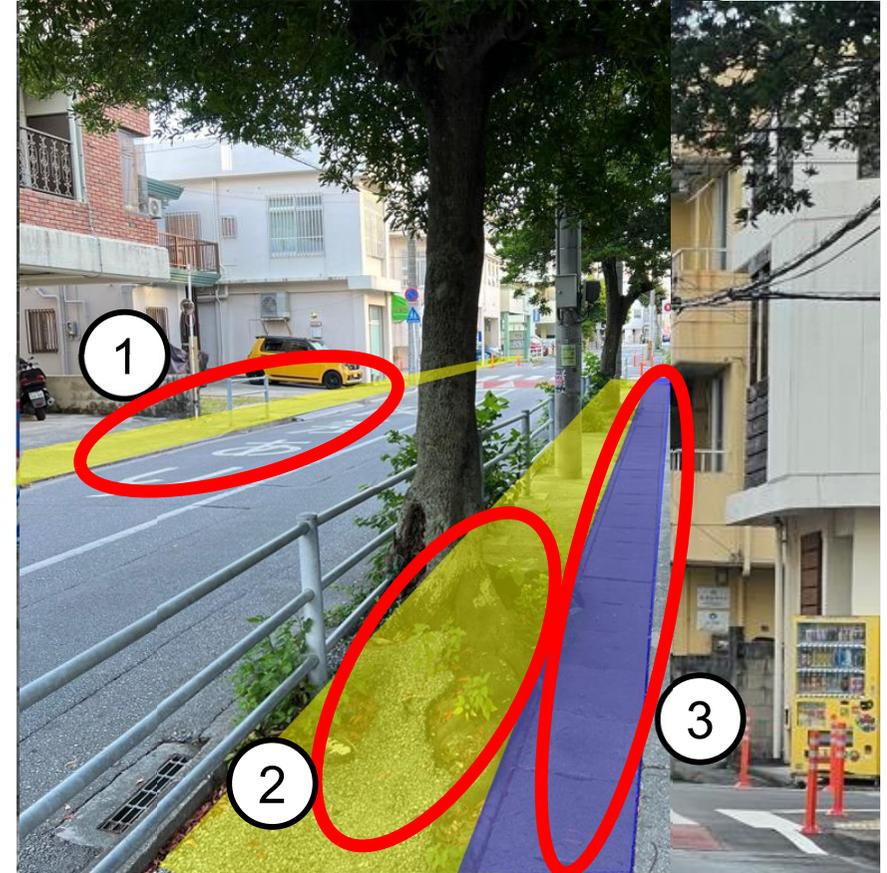
問題点1

周辺幹線道路の渋滞による通過交通の増加



問題点2

安全性・快適性が不足した歩道空間



- ✓ 周辺幹線道路からの車両流入
- ① 歩道の段差や傾斜
- ② 街路樹による破損
- ③ 歩道内に設置された側溝



目次

1. はじめに ～那覇市の概要について～

2. 若狭小学校地区の概要

3. 若狭小学校地区のこれまでの取り組み

4. さらなる交通安全対策に向けた取り組み
～ゾーン30プラスへ～

5. まとめと今後の展望

◆ ① 『生活道路対策エリア』への登録

◆ ② 第1回ワークショップ

◆ ③ 第2回ワークショップ

◆ ④ 第3回ワークショップ

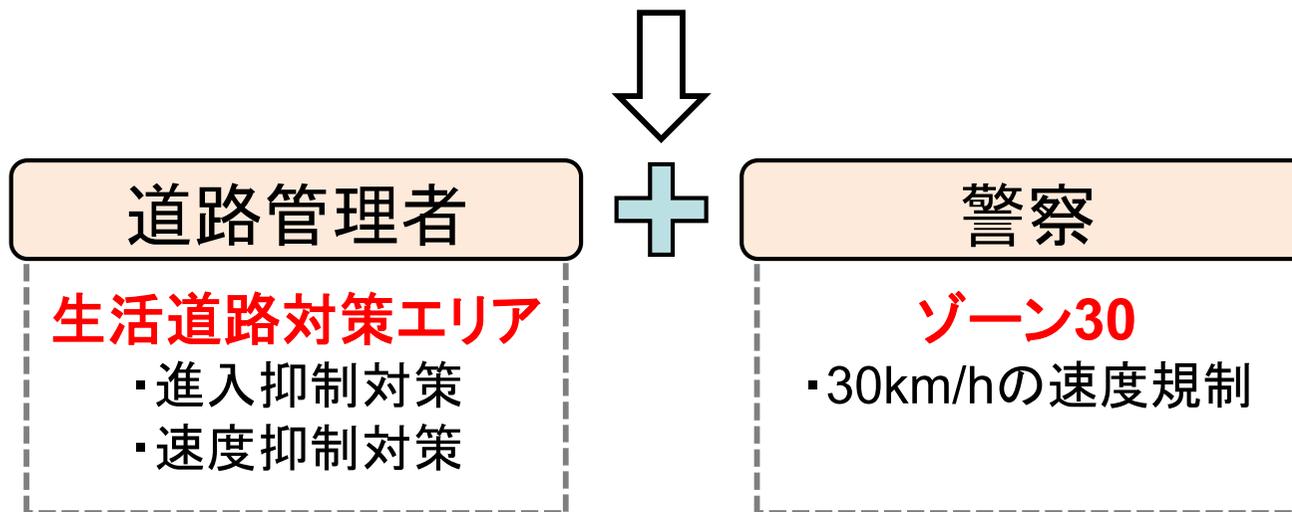
◆ ⑤ 『ゾーン30プラス』へ



① 「生活道路対策エリア」へ登録

■「生活道路対策エリア」とは？

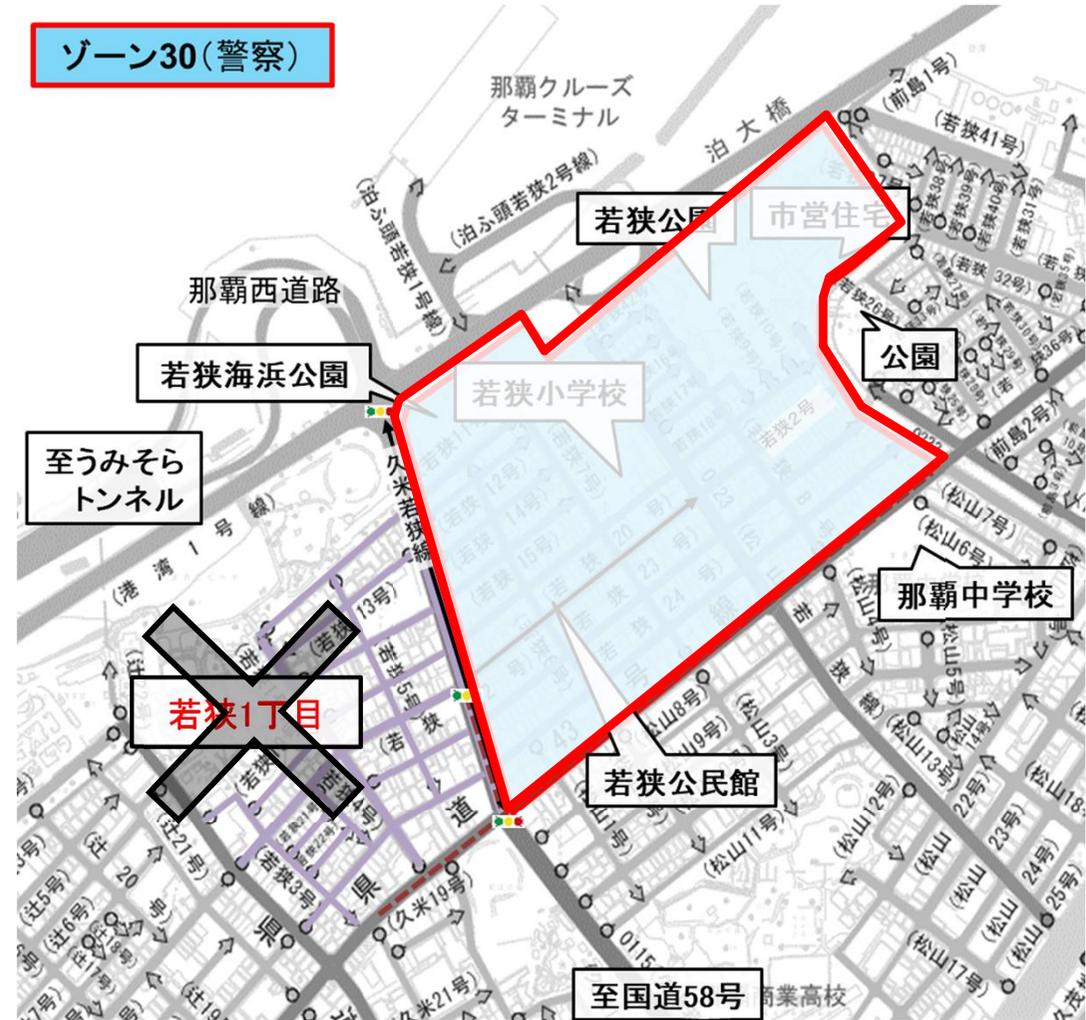
国、道路管理者、地域の住民、警察、学校関係者等が一体となり、経済性や施工性を考慮しながら、交通量及び速度の抑制、路上駐車対策、歩行空間の確保等の安全対策を検討・実施するエリアのこと。





4. さらなる交通安全対策に向けた取り組み～ゾーン30プラスへ～

① 「生活道路対策エリア」へ



↑ゾーン30検討中エリア



② 第1回ワークショップ



《参加者》

- ・若狭小学校区まちづくり協議会
- ・沖縄総合事務局 南部国道事務所
- ・那覇警察署
- ・那覇市役所(道路建設課 道路管理課 市民生活安全課 学校教育課)



② 第1回ワークショップ

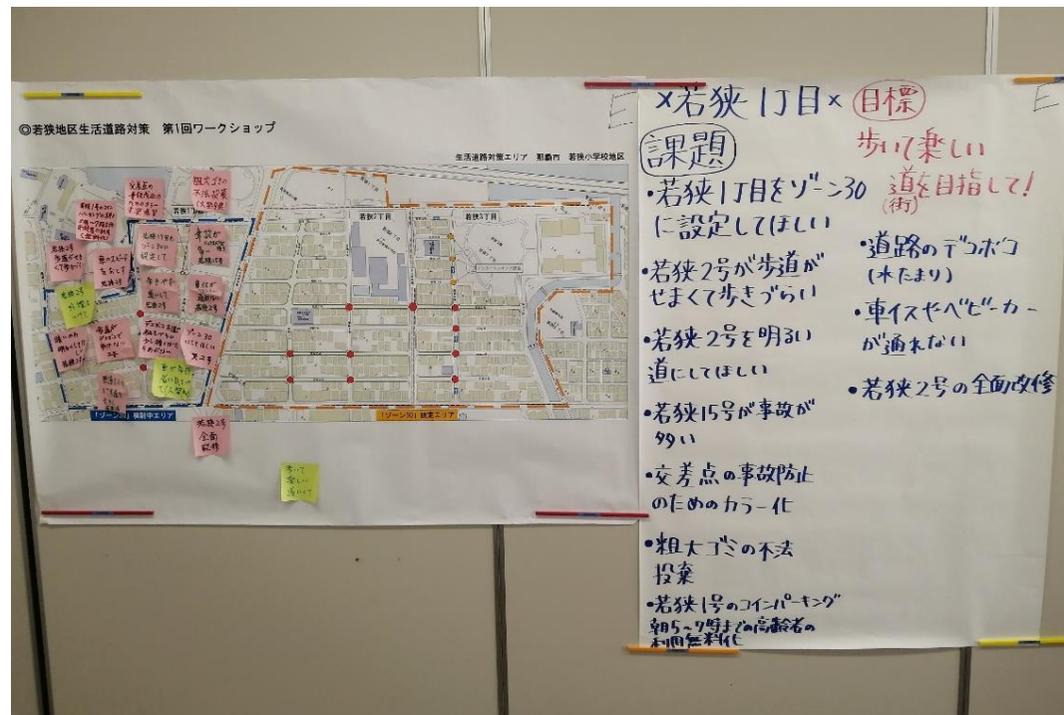
■ 目的

道路の課題や問題意識を共有し、必要な対策の集約・整理を行う。

□ グループディスカッションの様子



□ グループディスカッションの結果

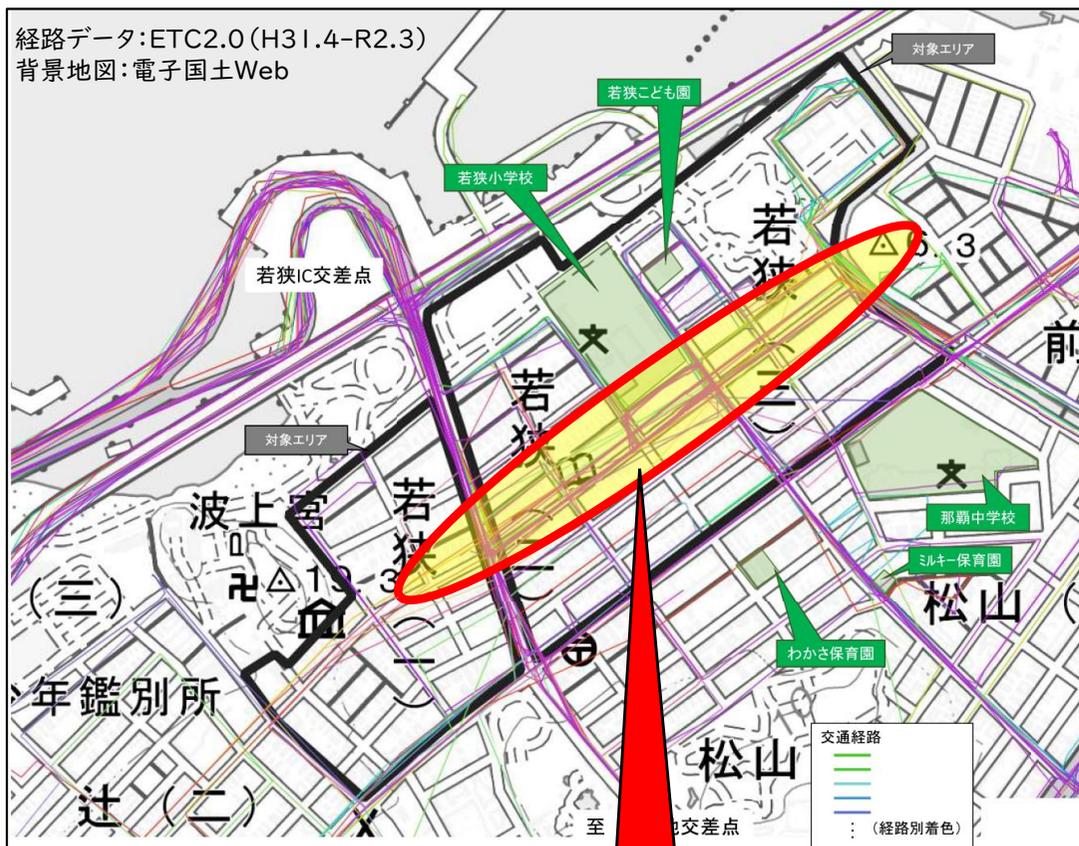




～ ワークショップにおける説明 ～

👉 ETC2.0プローブデータ（提供：南部国道事務所）

● 通過交通経路



若狭2号

✓ 通り抜けが多い

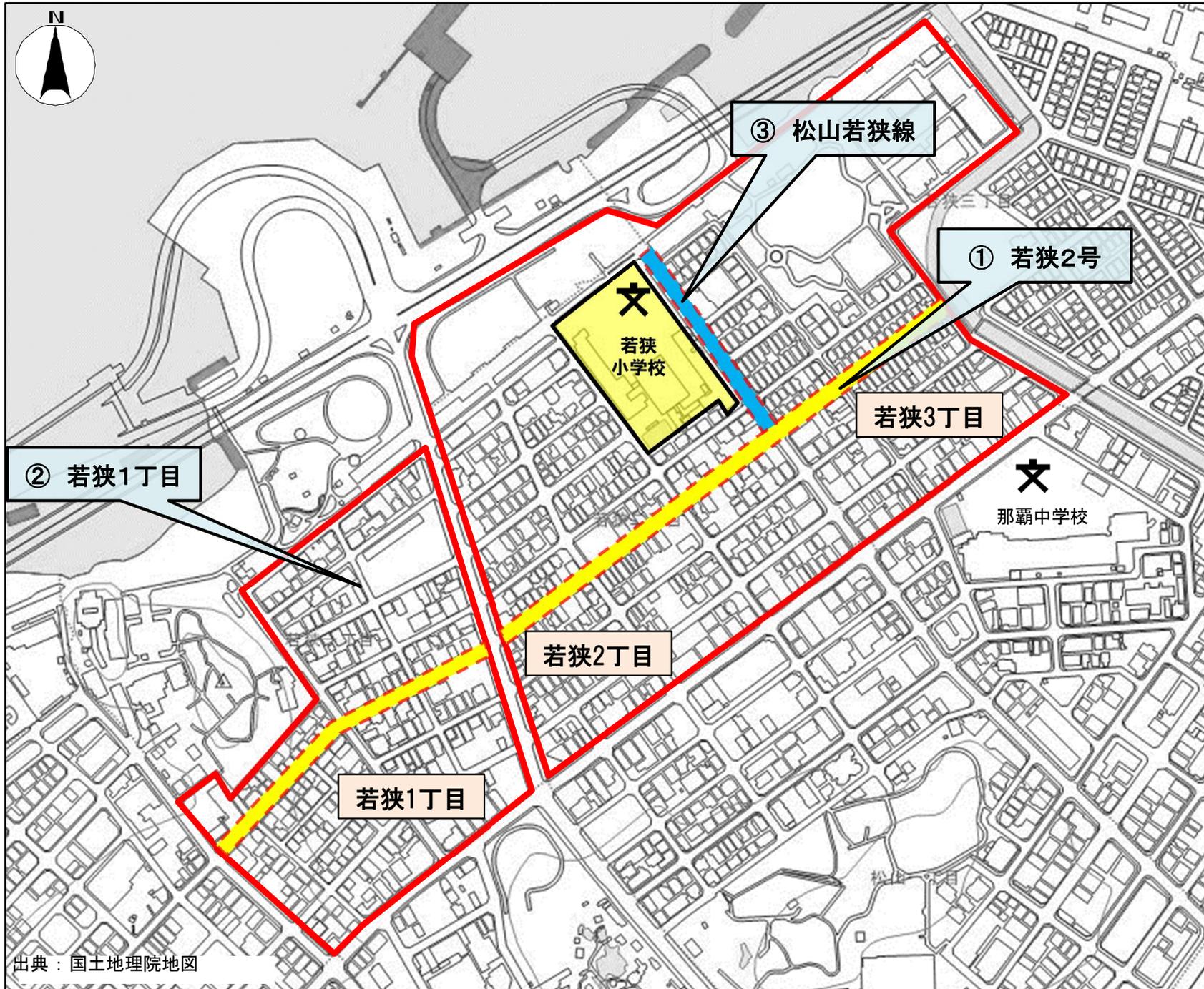
● 急減速・交通事故の発生位置



凡例		エリア内	エリア外
急ブレーキ箇所(0.3G以上)	●		
通学路	—		
		人対車両の事故	★
		人対車両以外の事故	★



② 第1回ワークショップ



出典：国土地理院地図

- ① 若狭2号
- ・スピードが速い
 - ・飛び出しが多い
 - ・歩道幅員が狭い
 - ・歩道が歩きづらい
- etc...

- ② 若狭1丁目
- ・スピードが速い
 - ・歩行空間が欲しい
- etc...

- ③ 松山若狭線
- ・送迎車が多い
 - ・違反駐車が多い



若狭2号を どうにかしたい



② 第1回ワークショップ

～ 現地確認 ～

👉 ワークショップでまとめた内容を配布し確認



現地確認状況①



現地確認状況②



② 第1回ワークショップ

ワークショップだよりを配布

若狭小学校地区 生活道路交通安全対策

ワークショップだより

Vol.1

主催：那覇市 道路建設課

第1回ワークショップを開催しました！

- 去る10月21日（水）15：30より若狭公民館にて、若狭小学校地区における生活道路の交通安全対策について考えるワークショップを開催しました！
- 若狭小学校区まちづくり協議会の皆さま22名にご参加頂き、様々な意見が数多く出され、活発なグループディスカッションになりました。（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加人数を限定しています）
- 11月2日（月）には現地調査を行い、問題箇所を確認しました。



10月21日（水）

① 前会のあいさつ
② グループディスカッション
③ 各壇の意見を発表
④ 各壇からの危険箇所とプローブデータの照合
⑤ 前会のあいさつ
→11月2日に現地確認！

【参加者】
・若狭小学校区まちづくり協議会
・南部国道事務所
・那覇警察署
・那覇市役所
・道路管理課
・道路建設課
・市民生活安全課
・学校教育課

ワークショップの目的・主旨

○若狭地区は、以前から交差点の着色（赤）や路側帯の着色（緑）などによる安全対策が実施されています。しかし、うみそらトンネルの開通に伴って交通量が増加しており、速度抑制対策等の更なる対策が必要になっています。そこで、若狭地区を生活道路対策エリアに登録し、必要な対策を講じることになりました。そのために、皆さまが日頃から感じている若狭地区の道路に関する課題や問題意識を共有し、交通安全対策の必要性について話し合い、問題が顕著な箇所に対して地域住民や行政、学校関係者が一体となって、必要な対策（道路整備や警察による取締り、交通安全指導など）に取り組んでいきます。

若狭地区の生活道路対策エリア



「ゾーン30」とは…？

生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的とし、区域（ゾーン）を求めて30km/hの速度規制を実施するとともに、その他安全対策を総合し、ゾーン内における車の走行速度や通り抜けを抑制します。生活道路対策エリアに登録するためには、ゾーン30に設定又は設定見込みでなければなりません。

「生活道路対策エリア」とは…？

国、道路管理者、地域の住民、警察、学校関係者が一体となって協議し、経済性や施工性を考慮しながら、交通量の抑制、速度の抑制、路上駐車対策、歩行空間の確保等の安全対策を検討・実施するエリアを指します。若狭地区は、ゾーン30に設定済みと検討中の区域からなり、合わせて生活道路対策エリアに登録されています。

グループディスカッション

○4グループに分かれてグループディスカッションを行い、付箋に問題点を書きだし地図に貼付しました。その後、主な意見や対策案を模造紙に集約し、グループごとに発表しました。

問題点	対策案
<ul style="list-style-type: none"> ○若狭2号 ・歩道幅員が狭い上に、街路樹の根が支障となり、非常に歩きづらい（特に車いすやお年寄り、ベビーカー） ・車道の路面状態が悪く、凹凸部に雨水が溜まる。 ・抜け道として利用されており、車両のスピードが出やすい。 ・子供の飛出しが多い。 ・歩道に乗り上げて停車している。 ・若狭2号を中心として、優先道路が分かりづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ○路面状態・街路樹 ・若狭2号の全面改良 ※歩道幅員を拡幅整備し、全面改良することで、歩きやすい道にする。 ○スピード抑制 ・段差や路面のカラーリング等で、車両のスピードを抑制する。 ○路面表示 ・一時停止線を新たに設置する。 ・道路表示を塗り直す。 ○明るさ対策 ・街灯の設置 ・道路沿いの家の外灯を工夫する。 ○児童の飛出し ・小学校や地域で交通安全指導をする。 ・事故防止のために、交差点にカラーリングをしてほしい。 ○通法駐車等 ・警察による取り締まり。
<ul style="list-style-type: none"> ○その他 ・通り全体の街灯が少ない。 ・全体的に路面表示が見づらい。 ・若狭小学校正門前に違法駐車が多数。 ・事故防止のために、交差点にカラーリングをしてほしい。 	

※若狭2号に問題が集中していたため、分けて書きだしています。他にも沢山の意見を頂きました！

分析データとの照合

○南部国道事務所より提供頂いた「ETC2.0プローブデータ」の分析結果と、今回抽出された意見の照合を行いました。

○皆さまのご意見にもあったように、若狭地区は「うみそらトンネル」からの抜け道として利用されていることや、エリア内（通学路）で急ブレーキが多発しており、事故が発生していることがわかりました。



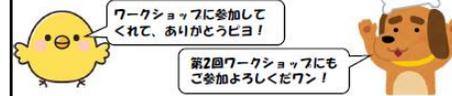
現地確認 11/2(月) 10:00～11:00

・ワークショップで出された危険箇所について、現地確認を行いました。



まとめ・スケジュール

- 第1回ワークショップでは、グループディスカッションやプローブデータの分析結果より、若狭地区の中でも特に若狭2号に課題や問題点が集中していることがわかりました。
- 現地調査では、ワークショップで挙げられた街路樹による歩道の凹凸、路面状態の悪い車道、見通しの悪い交差点等の問題点を確認、共有することができました。



●第1回ワークショップ：R2年10月21日 / 現地確認：R2年11月2日

●第2回ワークショップ：R3年1月中旬ごろ 次回

●実施実績：R3年2月～4月ごろ

●第3回ワークショップ：R3年6月ごろ

●ワークショップ終了後

問い合わせ先
那覇市 都市みらい課 道路建設課
担当：企画グループ 廣田（21）
TEL：098-951-3221



③ 第2回ワークショップ



《参加者》

- ・若狭小学校区まちづくり協議会
- ・スクールゾーン連絡協議会
- ・シーパラダイス共同企業体
- ・沖縄総合事務局 南部国道事務所
- ・那覇警察署
- ・那覇市役所(道路建設課 道路管理課 市民生活安全課)



■ 目的

- I 地域の足並みを揃えるため、地域としての方針を決定する。
- II 第1回WSで抽出された課題や問題点の対策案を具体化する。
- III 実証実験の内容や実験箇所を決定する。

～ 代表的な交通安全対策 ～

《ソフト的手法》

👉 ゾーン30

… 速度の抑制

👉 路側帯の設置・拡幅

… 歩行空間の確保

《ハード的手法》

👉 ハンプ(スムーズ横断歩道)

… 速度の抑制

👉 シケイン(クランク・スラローム)

… 交通量の抑制



■ 目的

- ◆ I 地域の足並みを揃えるため、地域としての方針を決定する。
- ◆ II 第1回WSで抽出された課題や問題点の対策案を具体化する。
- III 実証実験の内容や実験箇所を決定する。



① **対策方針 … 『子供からお年寄りまでだれもが歩いて楽しい地域』**

② **対策(案)の具体化 … 若狭2号**

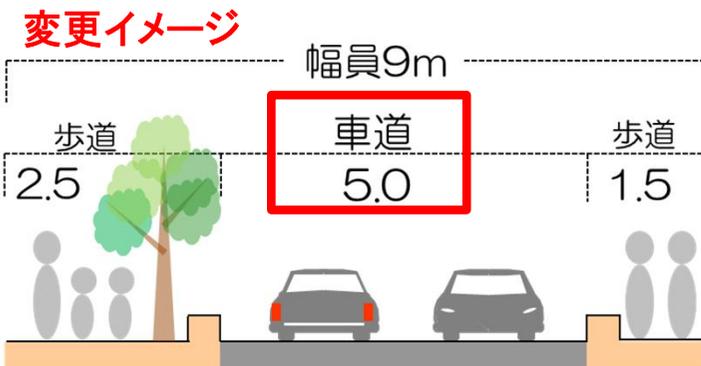
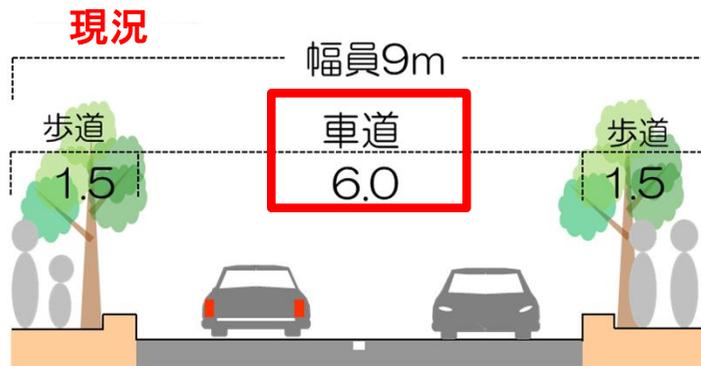
- ◆ **通過交通・速度抑制を図る物理的デバイスの設置**
- ◆ **バリアフリーに対応した歩道改良へ**



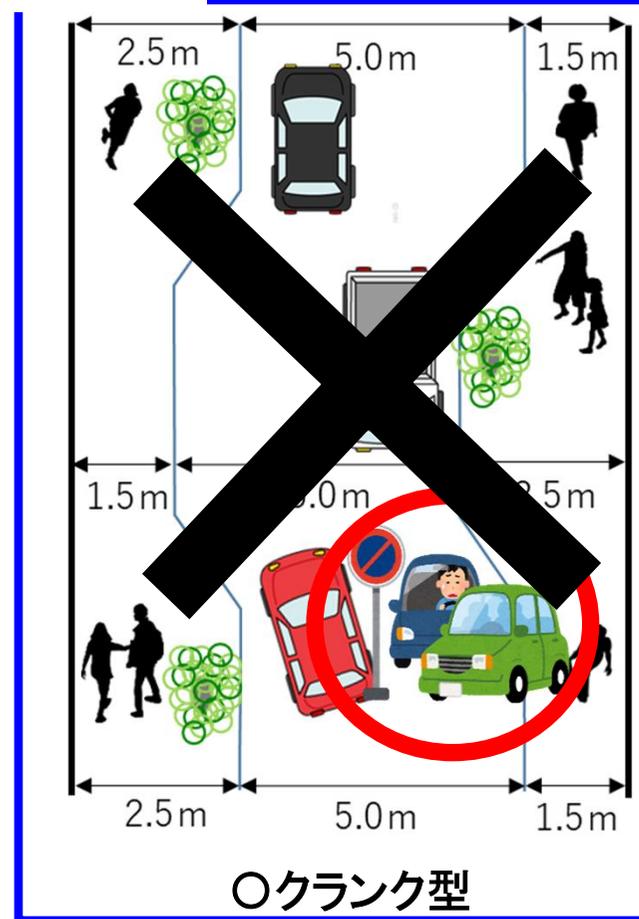
～ 若狭2号における対策内容 ～

◆ 通過交通・速度抑制を図る物理的デバイスの設置

歩道拡幅

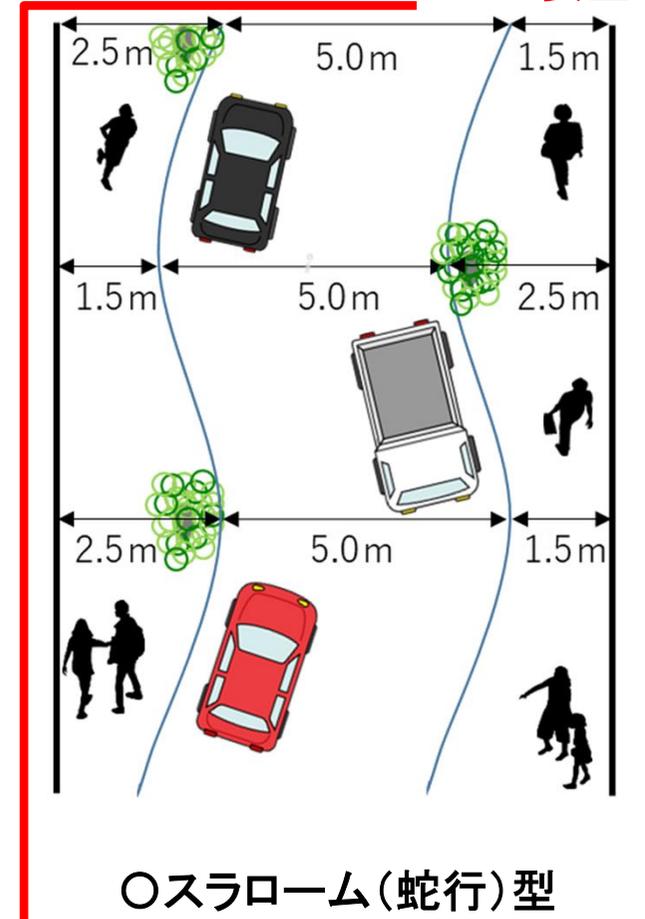


現状



シケイン型整備

要望





～ 若狭2号における対策内容 ～

- ◆ バリアフリーに対応した歩道改良へ

マウントアップ型



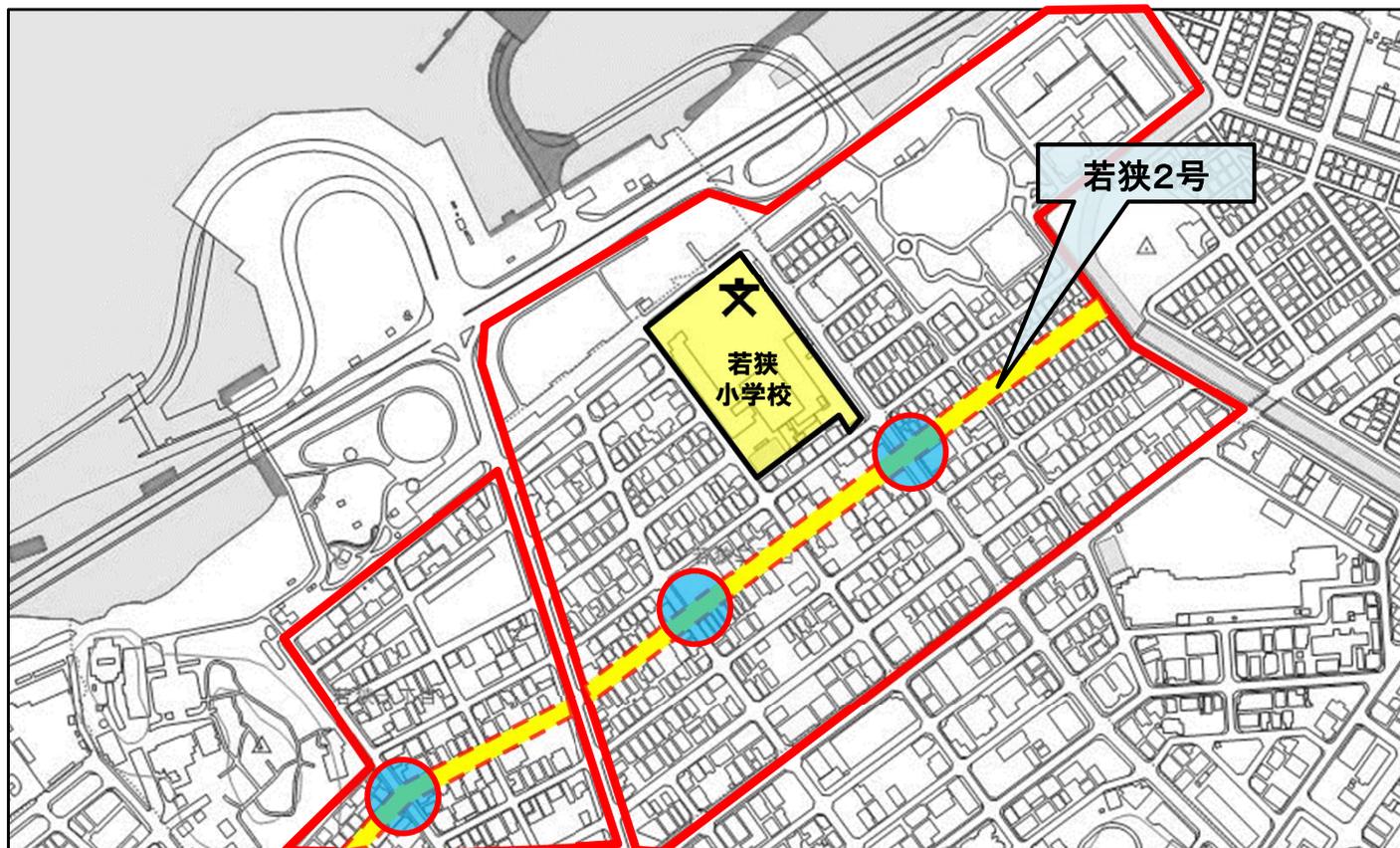
セミフラット型





■ 目的

- I 地域の足並みを揃えるため、地域としての方針を決定する。
- II 第1回WSで抽出された課題や問題点の対策案を具体化する。
- ◆ III 実証実験の内容や実験箇所を決定する。



- ☞ 対象路線は、「若狭2号」
- ☞ 実証実験は、仮設ハンプ
- ☞ 候補箇所は、3箇所提示



～若狭2号における箇所の選定～

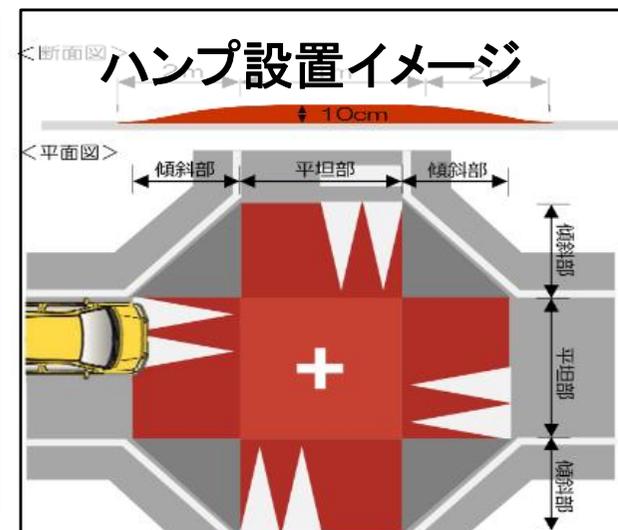
③ 第2回ワークショップ

👉 地域に親しい「若狭公民館・図書館」で実施



～若狭2号における実証実験の説明～

👉 仮設ハンプのイメージ図を提示





③ 第2回ワークショップ

👉 仮設ハンプの実証実験について

- ～設置について～
 - …南部国道事務所様より仮設ハンプを借用
- ～検証方法～
 - …ハンプ設置の前後3日間の車両通行速度を計測・データ分析を実施し、比較検証を行う。



ハンプ設置前



ハンプ設置後



路面標示



④ 第3回ワークショップ



《参加者》

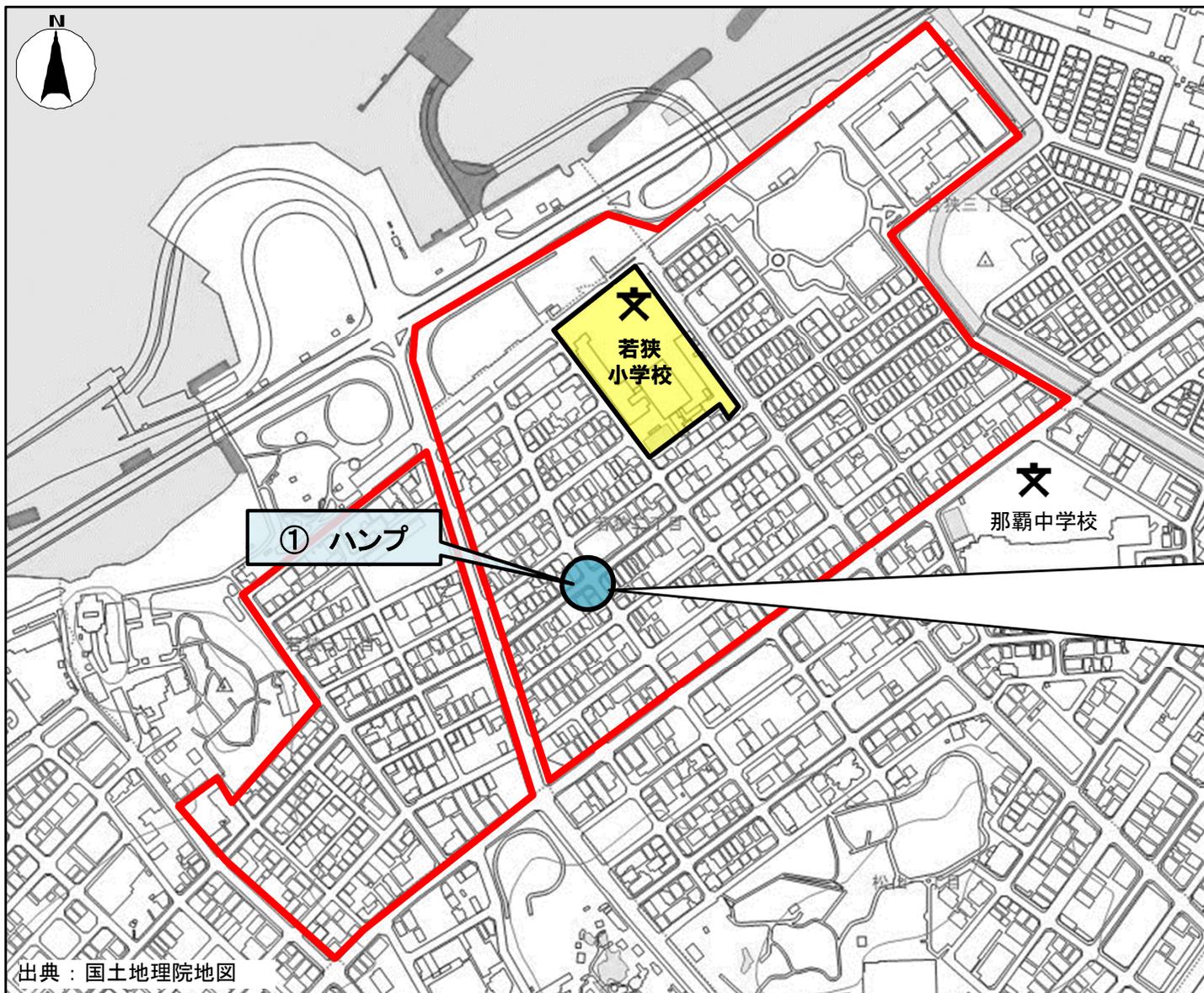
- ・若狭小学校区まちづくり協議会
- ・沖縄総合事務局 南部国道事務所
- ・那覇警察署
- ・那覇市役所(道路建設課 道路管理課)



④ 第3回ワークショップ

■ 目的

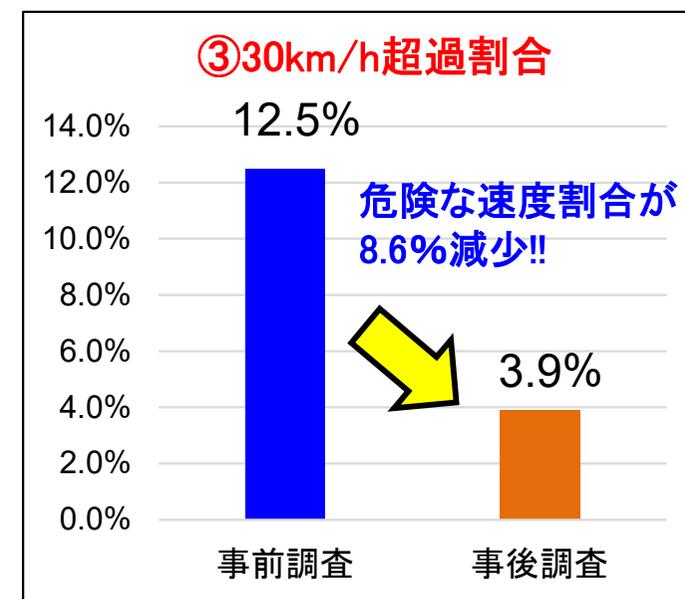
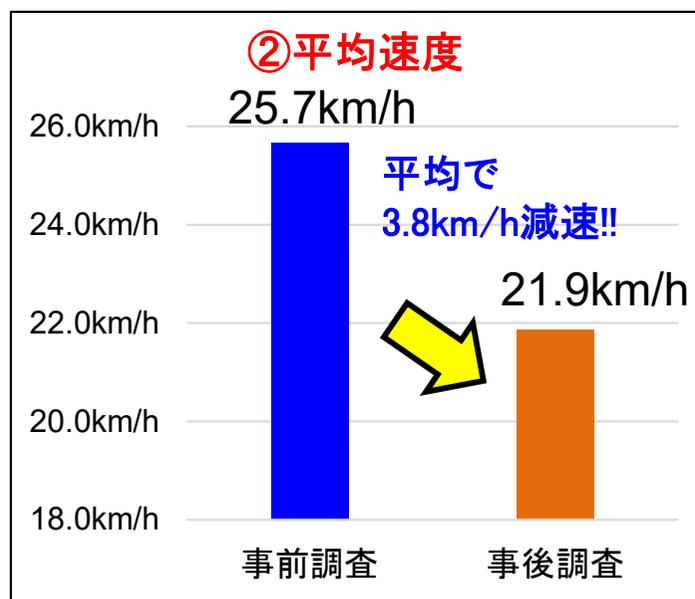
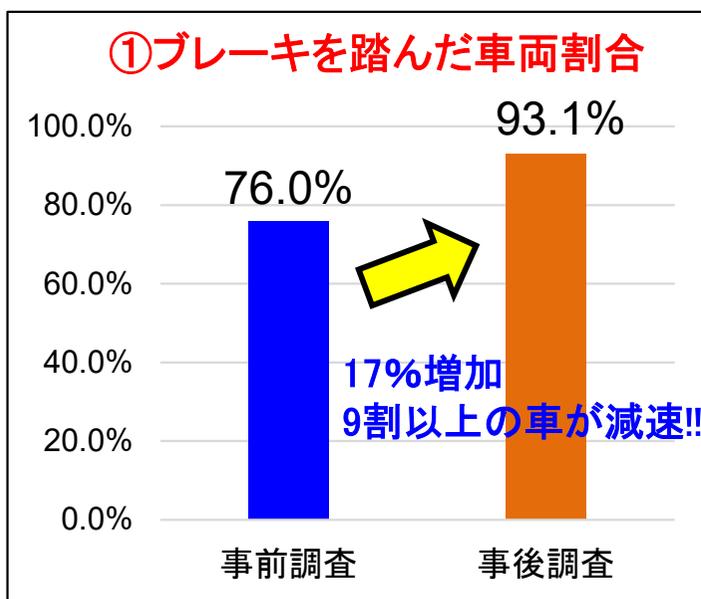
- ◆ I 仮設ハンプ実証実験の結果報告
- II 若狭2号の整備計画(案)について(合意)





仮設ハンブの実証実験の結果

- ～ 対象期間 ～ … 2021年10月15日に交差点ハンブの設置が供用されたため前後の3日間
- ～ 調査内容 ～ … ビデオ観測調査およびスピードガン調査
- ～ 実験結果 I ～

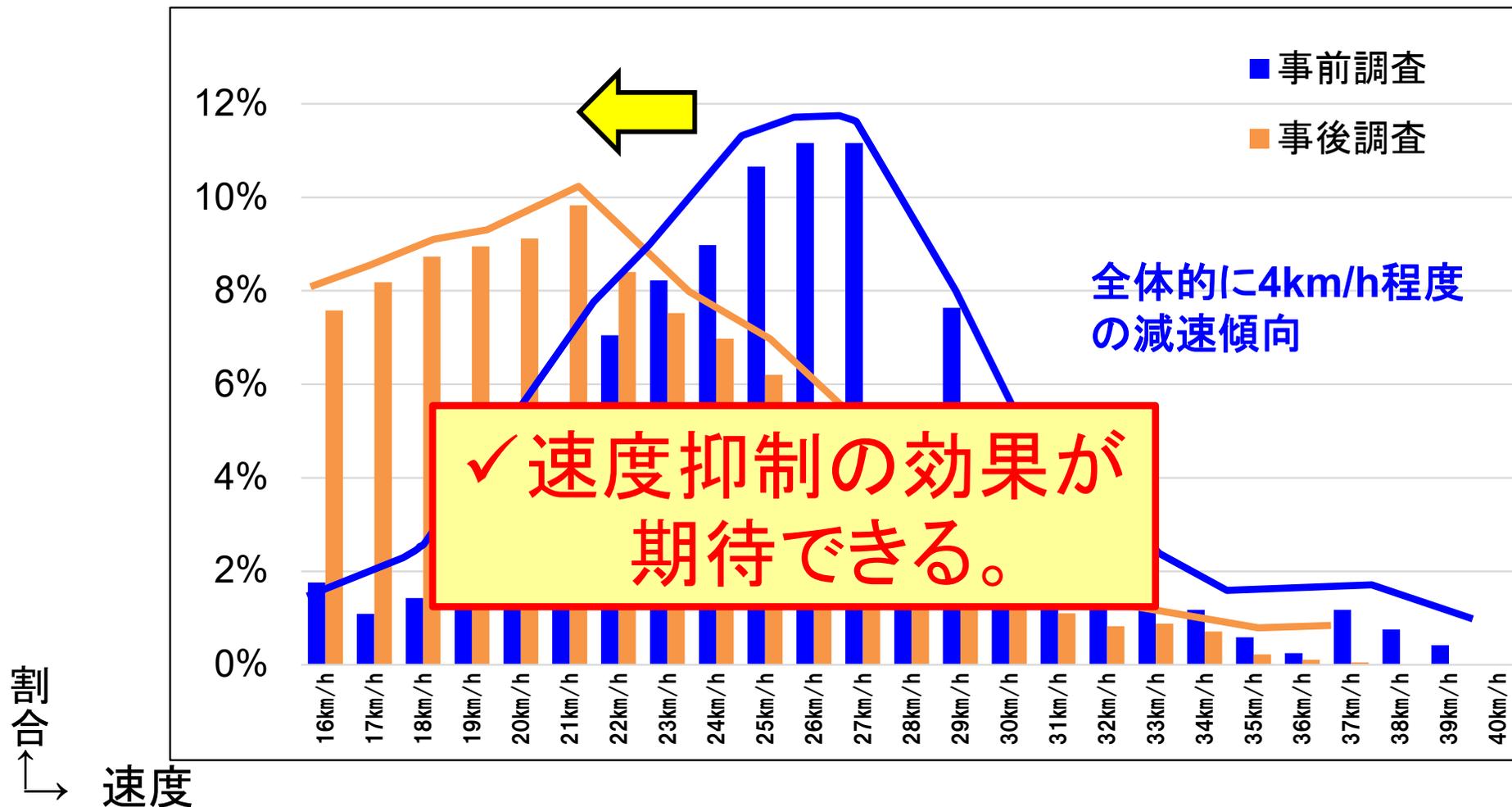


※スピードガン機器の性能上16km/h以下の速度の観測が出来ない。



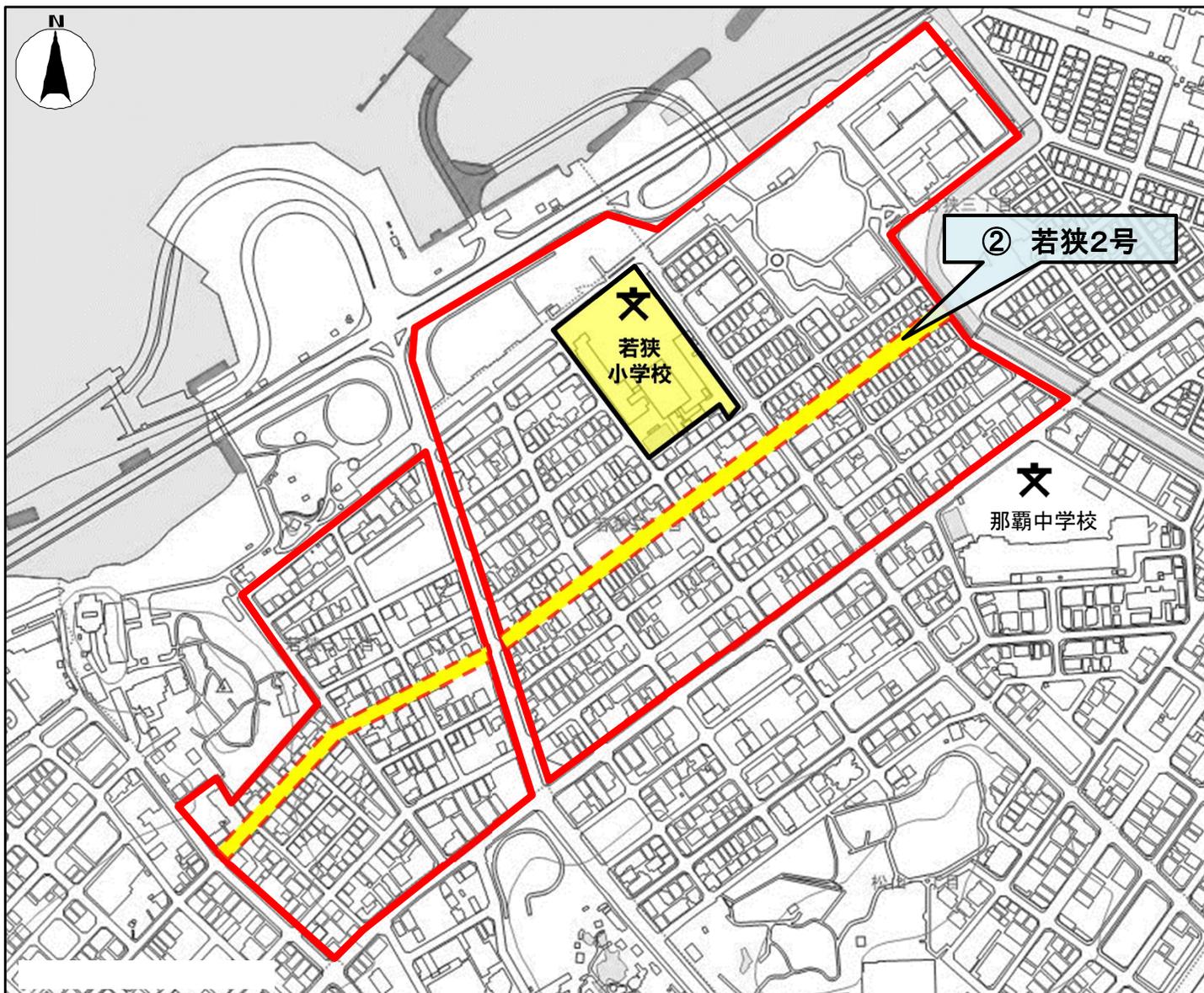
仮設ハンブの実証実験の結果

II. 実験結果





④ 第3回ワークショップ



■ 目的

I 仮設ハンプ実証実験の結果報告

◆ II 若狭2号の道路計画(案)について(合意)

☞ 全面的な改良

☞ 地域の合意形成

Ⅱ 若狭2号の道路計画(案)について

～ 道路計画(案) ～

- ◆ ① 歩道の拡幅
- ◆ ② スラローム構造の線形整備
- ◆ ③ 歩道幅員の広い箇所への植栽
- ◆ ④ セミフラット型の歩道整備

歩道幅(左)
1.5m

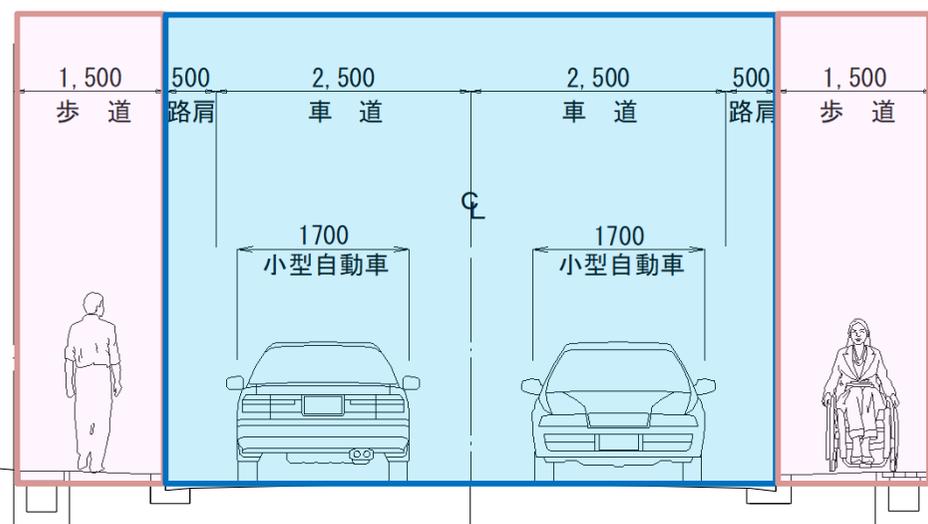
車道幅 6m

歩道幅(右)
1.5m

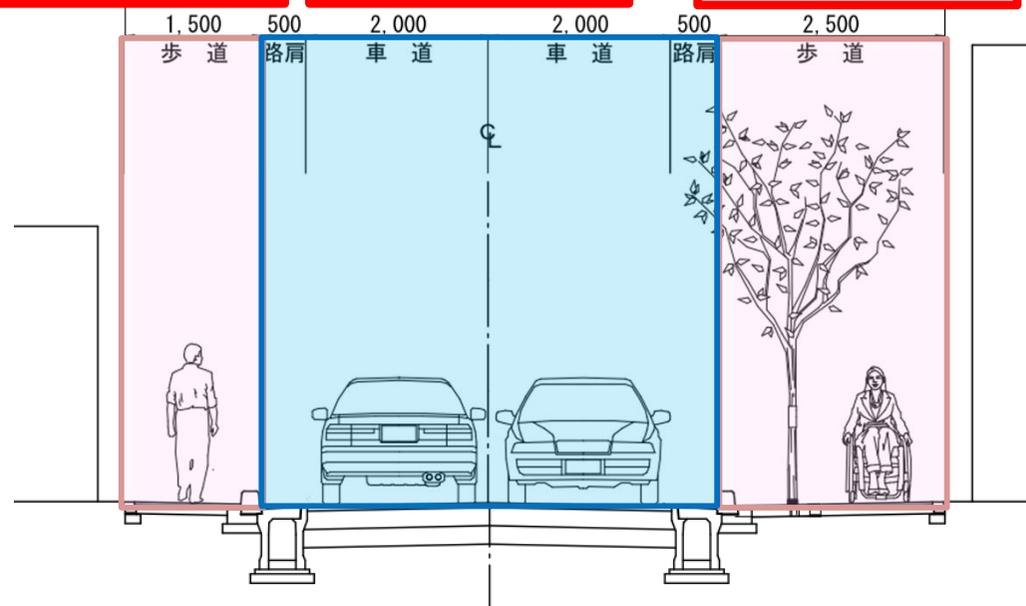
歩道幅(左)
1.5m～2.5m

車道幅 5m

歩道幅(右)
2.5m～1.5m



現況平面図



計画平面図



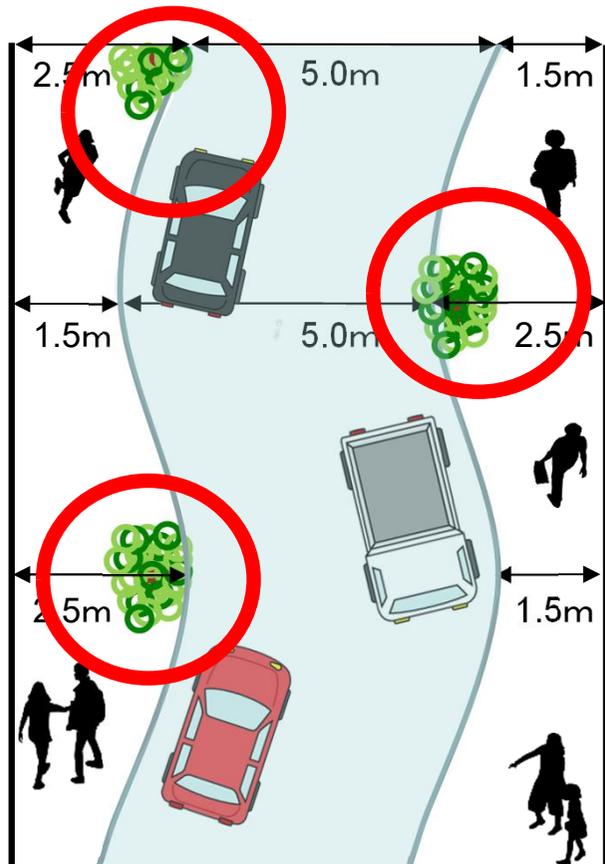
④ 第3回ワークショップ

Ⅱ 若狭2号の道路計画(案)について

★合意

～ 道路計画(案) ～

- ① 歩道の拡幅
- ② スラローム構造の線形整備
- ③ 歩道幅員の広い箇所への植栽
- ④ セミフラット型の歩道整備



➡ ワークショップだより
地区全体へ情報共有へ

若狭小学校地区 生活道路交通安全対策
ワークショップだより Vol.3

【ハイサイ】平素は本市の道路行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。去る11月22日(月)に、若狭公民館にて、第3回若狭小学校地区生活道路交通安全対策ワークショップを開催し、参加者の皆さまから多くのご意見をいただきました。今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加人数を制限し行いました。

1. 第3回ワークショップの主な内容

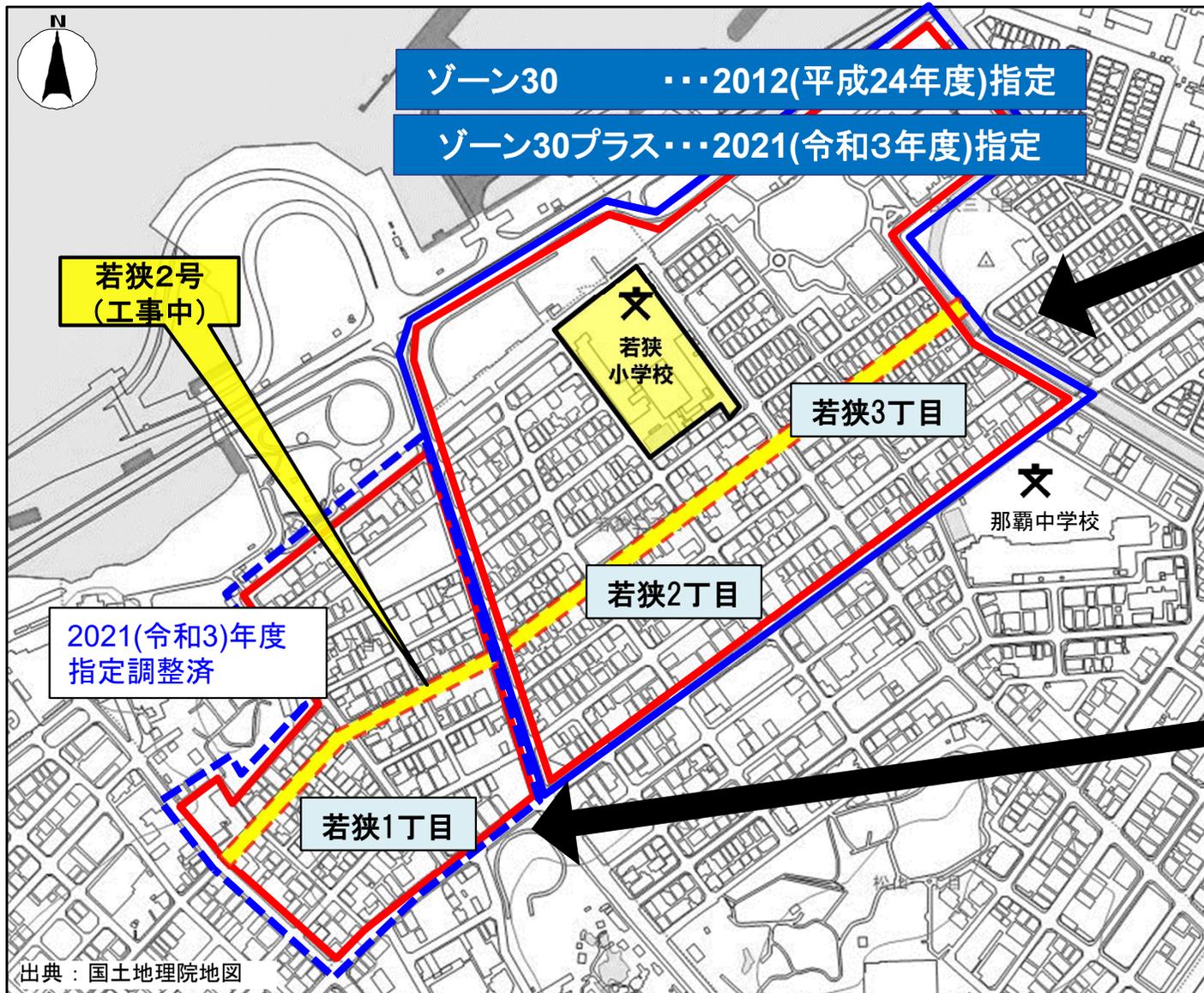
- ・前回までのワークショップを振り返り、現在若狭公民館前の交差点で実施中のハンプの実証実験について、効果検証の結果を確認しました。
- ・本市が考える若狭2号の道路計画案についてグループで議論し、その他必要な交通安全対策について検討しました。

11月22日

ワークショップの様子



⑤ 『ゾーン30プラス』へ



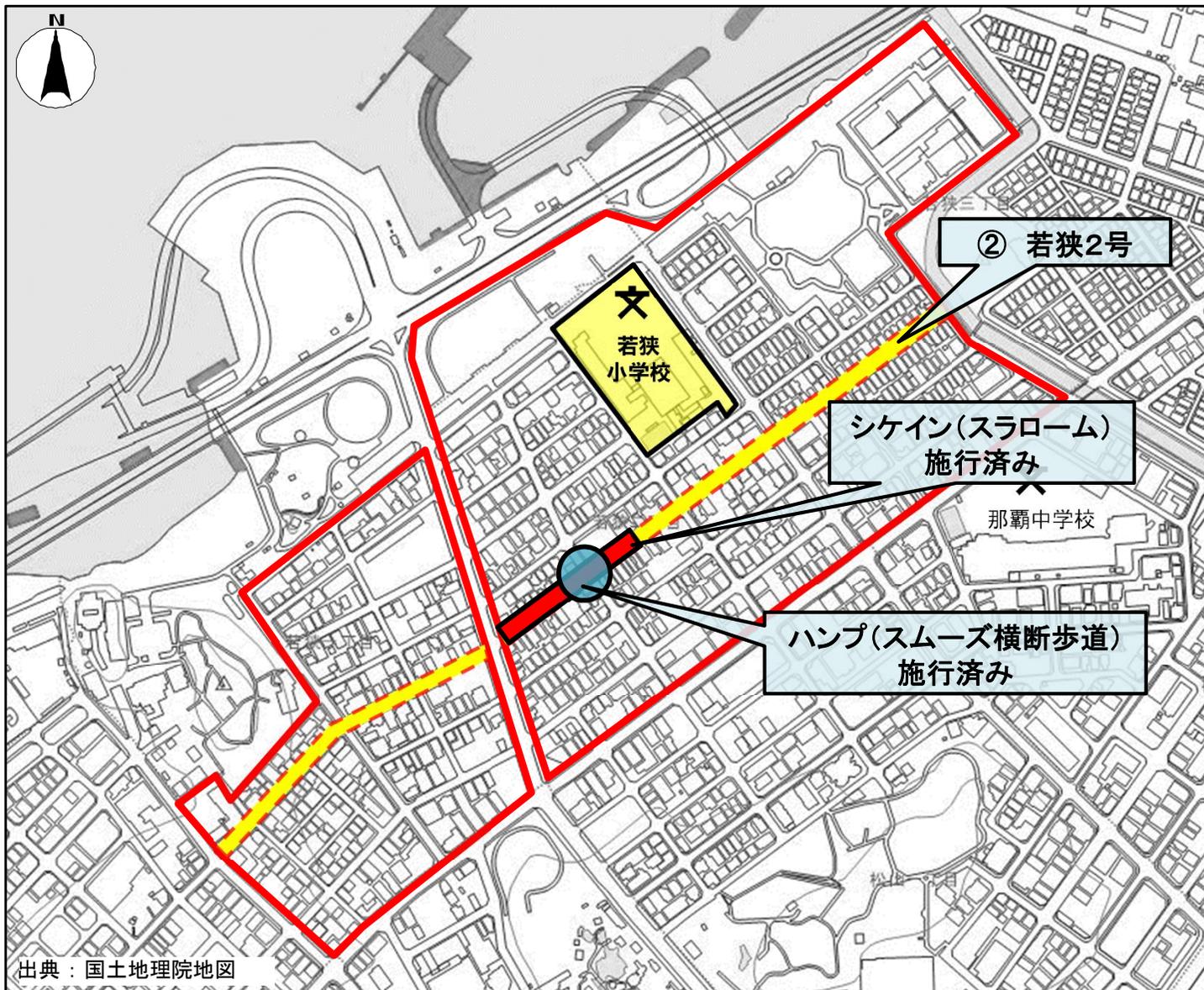
規制中【令和4年度】
(標識・標示設置済)

規制予定【令和8年3月】
(標識・標示設置予定)

※(注意) 道路標識や路面
標示を設置してからの効力
発現となる。



～施工状況について～





⑤ 『ゾーン30プラス』へ

～朝の通学風景～

立哨風景
(その1)



立哨風景
(その2)



交差点
ブレーキ
(その1)



交差点
ブレーキ
(その2)



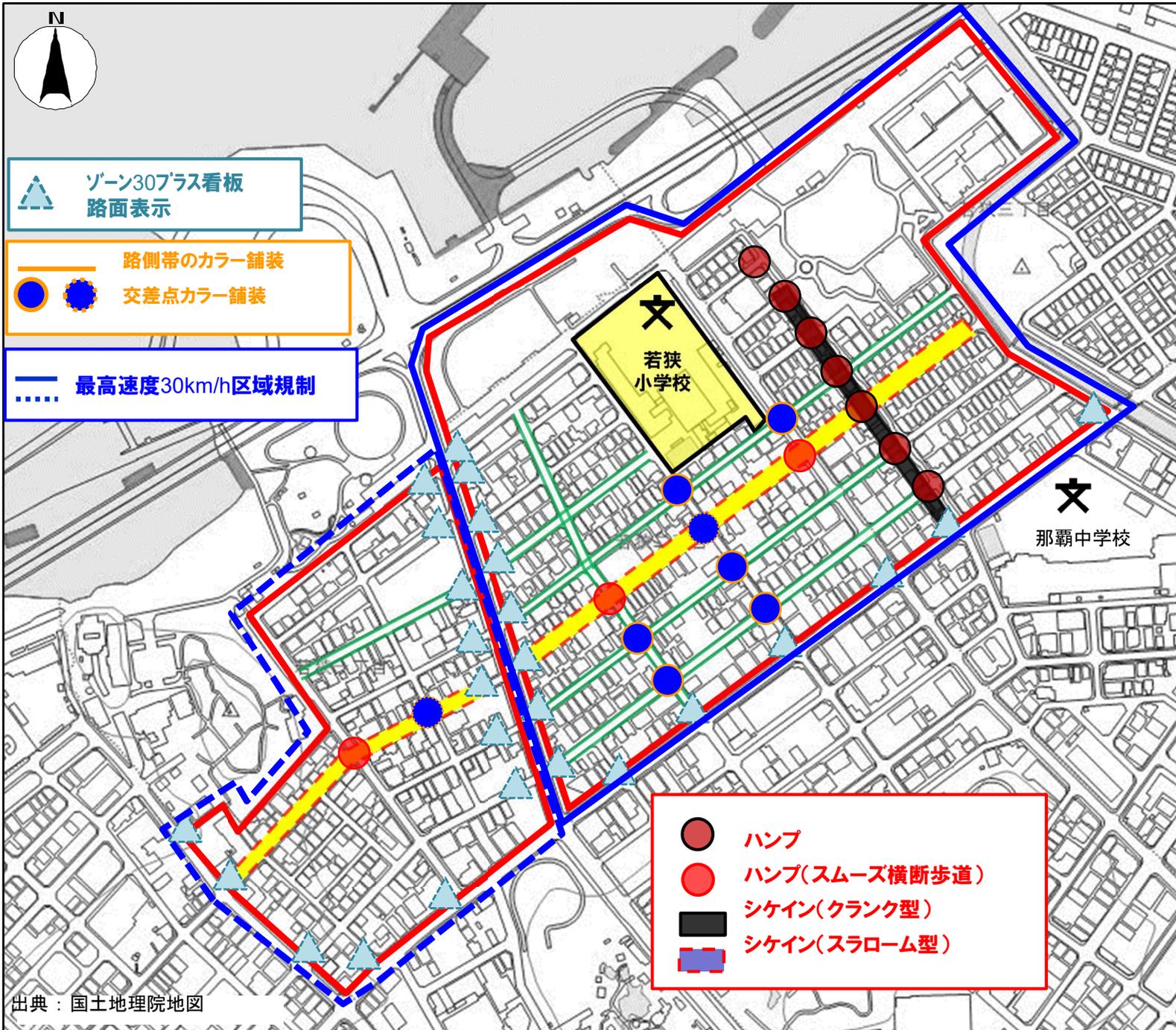


目次

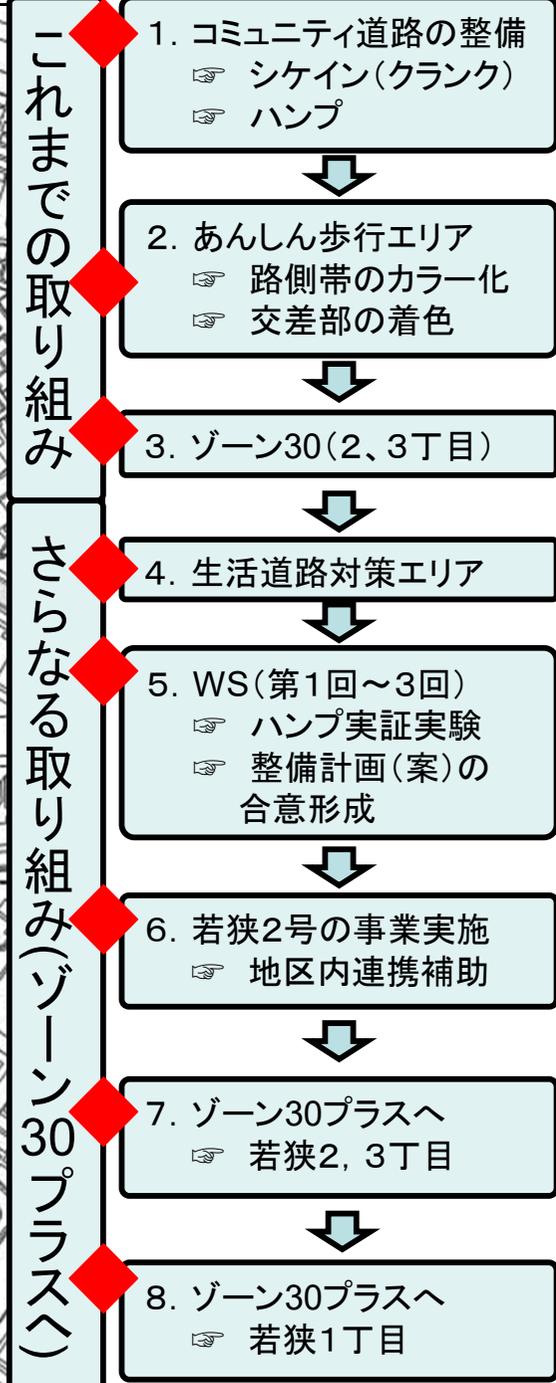
1. はじめに ～那覇市の概要について～
2. 若狭小学校地区の概要
3. 若狭小学校地区のこれまでの取り組み
4. さらなる交通安全対策に向けた取り組み
～ゾーン30プラスへ～
5. まとめと今後の展望



5. まとめと今後の展望



出典：国土地理院地図



まとめ

児童等を中心とした歩行者にとって安全で安心な歩行空間を創出するため、警察や地域住民等と一体となって交通安全対策に努めてきた。

■ 導入施策

- ◎ (2003.7～) あんしん歩行エリア
- ◎ (2013.2～) ゾーン30(若狭2・3丁目)
- ◎ (2020.7～) 生活道路対策エリア
- ◎ (2021.4～) 交通安全対策補助制度(地区内連携)
- ◎ (2022.3～) ゾーン30(若狭1～3丁目)
- ◎ (2022 ～) ゾーン30プラス(若狭1～3丁目)

■ 整備・活動内容

- ◎ シケイン(クランク、スラローム)整備
- ◎ 交差点・路側帯のカラー舗装化
- ◎ 物理的デバイス(ハンプ)の設置
- ◎ 路面の強調標示(止まれ)
- ◎ セミフラット型歩道
- ◎ 立哨活動(地域)

今後の展望

- ✓ 若狭2号に限らず、地区全体における安全対策の見直し・強化のため、今後も地域住民等と連携しながら最善な対策を検討・実施する。
- ✓ 那覇市全体においても安全・安心な道路空間を創出できるよう、地域関係者の協力も仰ぎながら、今後も道路改良に尽力する。

ご静聴ありがとうございました。